



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月3日

上場会社名 三信電気株式会社

上場取引所 東

コード番号 8150 URL <http://www.sanshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松永 光正

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経本部長 (氏名) 西尾 圭司

TEL 03-3453-5111

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	35,558	△14.0	214	△62.9	226	△68.6	149	△68.8
23年3月期第1四半期	41,329	△10.7	578	53.5	720	90.5	479	64.7

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △154百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △34百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	4.93	—
23年3月期第1四半期	15.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	83,637	59,138	70.7
23年3月期	92,422	59,596	64.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 59,138百万円 23年3月期 59,596百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	81,000	△10.6	270	△78.3	300	△77.3	150	△80.1	4.95
通期	178,000	△2.6	1,550	△28.4	1,600	△29.1	1,100	△24.0	36.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(その他)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	30,281,373 株	23年3月期	30,281,373 株
24年3月期1Q	1,000 株	23年3月期	965 株
24年3月期1Q	30,280,400 株	23年3月期1Q	30,280,662 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であって、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

①当第1四半期連結累計期間の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米国の雇用情勢の低迷や長引く欧州の財政問題、新興国のインフレなど不安定さを払拭できないまま推移しました。また、我が国の経済につきましても、円高基調が続く為替相場に加え、東日本大震災の影響により企業収益の増勢が鈍化するなど、厳しい情勢となりました。当社グループが属するエレクトロニクス業界におきましては、東日本大震災によりサプライチェーンが混乱し生産活動が停滞したほか、今後の電力供給の制約が生産活動に及ぼす影響が懸念されるなど、先行きに対する不透明感が残りました。

このようななか当社グループは、事業力の強化と経営基盤の整備に取り組み、売上高の増加ならびに収益力の向上に努めてまいりました。

しかしながら、事業環境変化や震災の影響などにより、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は355億58百万円（前年同期比14.0%減）、営業利益は2億14百万円（前年同期比62.9%減）、経常利益は2億26百万円（前年同期比68.6%減）、四半期純利益は1億49百万円（前年同期比68.8%減）となりました。

②セグメント業績概況

(デバイス事業)

デバイス事業におきましては、主にエレクトロニクスメーカー向けに半導体（システムLSI、マイコン、液晶ディスプレイドライバIC、メモリ等）や電子部品（コネクタ、コンデンサ、回路基板等）の販売に加え、ソフト開発やASIC設計等の技術サポートを行っております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、半導体は主要仕入先の統合に伴い獲得した新規商流が増加したものの、家庭用ゲーム機向けシステムLSIや携帯電話向けチップセットなどが減少し、売上高が前年同期に比べ減少いたしました。また、電子部品につきましても、デジタル家電向けコネクタが堅調に推移したものの、家庭用ゲーム機向けなどが減少し、売上高が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、連結デバイス事業の売上高は336億89百万円（前年同期比15.0%減）、セグメント損益は2億29百万円（前年同期比74.1%減）となりました。

なお、受注高は322億39百万円、受注残高は352億9百万円となりました。

(ソリューション事業)

ソリューション事業におきましては、主に企業や医療機関、官公庁、自治体向けに情報通信ネットワークや基幹業務システムの販売及び保守・サポート等を行うネットワークシステム関連ビジネスと、放送局や映像制作のプロダクション向けに映像コンテンツの編集や送出、配信に使用するシステムやソフトウェアの販売等を行う映像システム関連ビジネスを展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、ネットワークシステム関連ビジネス及び映像システム関連ビジネスとも、売上高が前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、連結ソリューション事業の売上高は18億68百万円（前年同期比10.7%増）、セグメント損益は、前年同期比で1億44百万円改善し、55百万円となりました。

なお、受注高は15億82百万円、受注残高は41億8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて87億85百万円減少し、836億37百万円となりました。これは主に売上債権の減少85億26百万円等によるものです。

また、負債は、前連結会計年度末に比べて83億27百万円減少し、244億98百万円となりました。これは主に仕入債務の減少57億55百万円、短期借入金の減少24億75百万円等によるものです。

純資産は、利益剰余金の減少1億53百万円、その他有価証券評価差額金の減少27百万円、為替換算調整勘定の減少3億31百万円、繰延ヘッジ損益の増加54百万円等により4億57百万円減少し、591億38百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期及び第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、平成23年3月期決算短信（平成23年5月18日発表）に記載した予想数値から変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（税金費用の計算方法の変更）

従来、税金費用については、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より、年度決算と同様の方法にて計算する方法に変更しております。

これは、得意先の海外生産移管が進むなか、税金等調整前四半期純利益に対する連結子会社からの受取配当金等永久に益金に算入されない項目の割合が年度の見積実効税率の算出における課税所得に対する割合に比べて高くなったため、従前の方法では、四半期連結累計期間の経営成績を適切に反映できないと判断し、年度決算同様の方法を採用することによって四半期連結累計期間の課税所得に対応する税金費用をより正確に反映させるとともに経営成績をより適切に表示することを目的として行ったものです。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期については遡及適用後の四半期連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、主に前第1四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は1百万円増加し、法人税等合計は64百万円減少したことにより、四半期純利益は66百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,824	11,087
受取手形及び売掛金	54,856	46,329
商品	20,996	18,405
半成工事	14	5
その他	3,165	1,347
貸倒引当金	△26	△25
流動資産合計	85,830	77,151
固定資産		
有形固定資産	4,417	4,388
無形固定資産		
のれん	27	22
その他	265	233
無形固定資産合計	292	255
投資その他の資産		
その他	1,923	1,883
貸倒引当金	△41	△40
投資その他の資産合計	1,882	1,842
固定資産合計	6,592	6,486
資産合計	92,422	83,637
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,218	17,462
短期借入金	7,788	5,313
未払法人税等	135	136
引当金	638	245
その他	821	1,120
流動負債合計	32,601	24,278
固定負債	224	220
負債合計	32,826	24,498

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,811	14,811
資本剰余金	15,329	15,329
利益剰余金	32,215	32,061
自己株式	△0	△0
株主資本合計	62,355	62,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98	71
繰延ヘッジ損益	△22	31
為替換算調整勘定	△2,835	△3,166
その他の包括利益累計額合計	△2,759	△3,063
純資産合計	59,596	59,138
負債純資産合計	92,422	83,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	41,329	35,558
売上原価	38,450	33,046
売上総利益	2,878	2,511
販売費及び一般管理費	2,300	2,297
営業利益	578	214
営業外収益		
受取利息	6	3
受取配当金	115	7
為替差益	31	—
その他	14	16
営業外収益合計	168	27
営業外費用		
支払利息	5	8
売上割引	5	1
為替差損	—	3
その他	15	1
営業外費用合計	26	15
経常利益	720	226
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	0	—
のれん譲渡益	3	—
特別利益合計	4	2
特別損失		
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	0	—
特別損失合計	1	—
税金等調整前四半期純利益	723	228
法人税、住民税及び事業税	94	42
法人税等調整額	149	36
法人税等合計	244	79
少数株主損益調整前四半期純利益	479	149
四半期純利益	479	149

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	479	149
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△167	△27
繰延ヘッジ損益	182	54
為替換算調整勘定	△528	△331
その他の包括利益合計	△513	△304
四半期包括利益	△34	△154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△34	△154
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	39,641	1,688	41,329	—	41,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	39,641	1,688	41,329	—	41,329
セグメント利益又は損失(△)	888	△89	798	△78	720

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△78百万円には、各報告セグメントに配分していない企画・総務・経理及び人事等管理部門に係る費用、各報告セグメントに配分した社内支払利息との調整額などが含まれております。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス事業	ソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,689	1,868	35,558	—	35,558
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,689	1,868	35,558	—	35,558
セグメント利益	229	55	285	△58	226

(注) 1 セグメント利益の調整額△58百万円には、各報告セグメントに配分していない企画・総務・経理及び人事等管理部門に係る費用、各報告セグメントに配分した社内支払利息との調整額などが含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。